

2012防災教育チャレンジプラン
活動報告

チームKOU防災プロジェクト

2013.2.9

三重県志摩市立国府小学校



三重県
志摩市



英虞湾 (志摩半島とリアス式海岸地形)



国府
(こう)

太平洋



国府の浜 (関西のサーフィン・スポット)



地域の津波対策



避難路の看板



駐車場の避難路マップ

国府小学校 (児童数80名) 運動場は海拔3.1m



裏山(海拔約20m)
より校舎、海が見える

2012 チャレンジプラン 活動報告

- ◆ 様々な場면을想定した避難訓練
- ◆ 地域と連携した防災教育
- ◆ 拠点学年(4年)を中心とした防災学習

様々な場면을想定した避難訓練

- 授業中における地震発生と津波避難 4月
- 休憩時予告なしでの避難訓練 6月
- 野外体験活動時の避難場所確認・非常食体験 7月
- 自治会・幼稚園・児童館との合同避難訓練 9月
- 下校時の避難訓練 10月

新一年生も参加して避難訓練



海拔14.5mの避難場所 防災倉庫



野外体験活動で非常食（五目ご飯）を作る



地域の方と一緒に避難訓練



幼稚園児も一緒に2次避難場所 (海拔約20m)へ

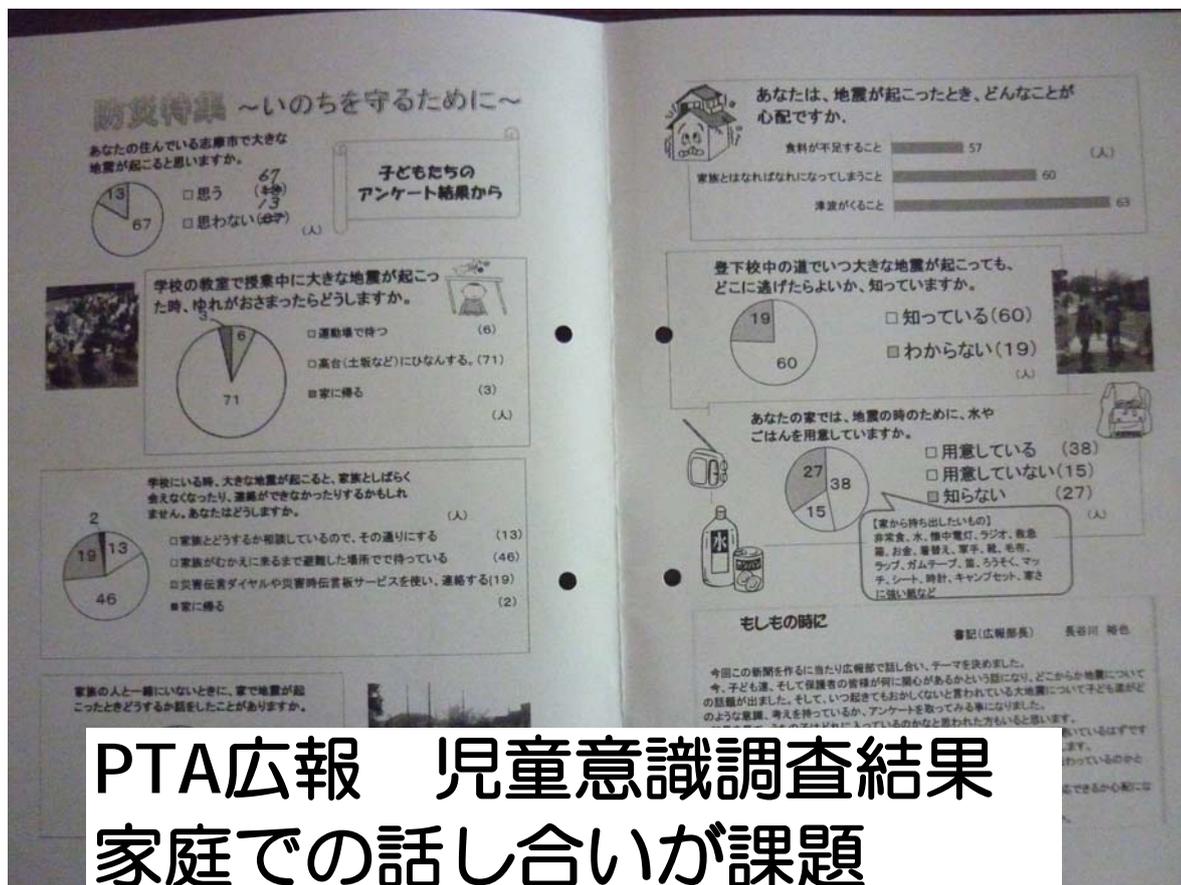


ヘルメットとライフジャケット



保護者・地域と連携した防災学習

- ◎ PTA広報部による児童意識調査 6月
- ◎ 職員・自治会・老友会合同防災研修会 7月
(市防災担当者より講話)
- ◎ 自治会・幼稚園・児童館との合同防災学習 9月
起震車体験
液状化実験(県教委より)
園児・低学年・高学年別の防災講話(県教委より)
石巻視察報告(社協職員より6年生へ)
・・・保護者・地域住民の参加、参観



PTA広報 児童意識調査結果
家庭での話し合いが課題

合同防災研修会 市防災課より講師を招く



国府自治会・小学校・幼稚園・児童館合同

避難訓練・防災学習などの日程

1. 日時 平成24年9月28日(金) 9:10～ 午前中
2. 場所 国府小学校 (避難訓練は、各指定避難場所において)
3. 内容

	小学校	自治会・幼稚園・児童館
9:10～ 9:25	避難訓練 (少雨決行) (9:10サイレンと放送で避難開始 各指定避難場所へ)	
2限 9:35～10:20	小学校・授業 (学校開放: 参観自由) 6年「1年後の石巻を訪ねて」	(避難訓練終了後、小学校へ) 自治会・起震車体験運動場 幼稚園・児童館・防災学習 (2階・図書室) (自治会・保護者参加可)
業間 10:20～10:40		幼稚園・児童館・起震車体験 (自治会・保護者参観可)
3限 10:40～11:25	防災学習(高学年) 起震車体験・液状化(低学年) (2階・図書室、運動場)	防災学習の内容は、低学年と高学年で 異なります。 (自治会・保護者参加可)
4限 11:35～12:20	防災学習(低学年) 起震車体験・液状化(高学年) (2階・図書室、運動場)	

※起震車体験や防災学習に参加いただいた方には、市防災室よりいただいた
防災啓発グッズの配布があります。

※ご不明の点は、北井自治会長または国府小学校(47-3251)まで
ご連絡ください。

地域への回覧ちらし

地域の人たちが来て
くれました



1年後の石巻の様子（写真展）



おじいちゃんおばあちゃんも起震車体験



震災1年後の石巻を訪ねて スポーツ少年団長の話を聞く



地域の方もたくさん聞いていました

県教委防災室の防災学習



幼稚園児童館の子どもたち

小学校高学年の子どもたち



液状化実験



子どもの感想から

- ◇ぼくは、じっけんを見て「こわいなあ」と思いました。なぜかというと、ぼくの家がはまに近いからです。・・・
- ◇・・・トラックにのって、体けんしてみました。自分のことは自分でやるのが、よくわかりました。ほんとうに地しんがおこったらこわいです。ライフジャケットとヘルメットを着ながら、ひなんくん練をしました。14メートルの土さかと20メートルの土さかの上にもひなんしました。走るのがつかれたけど、しぬのがいやだから、ひっしににげる練習をしました。



←避難場所の防災倉庫



子どもたちの着替えを夏用、冬用に入れ替えをします。

⑥外で遊んでいるときに、地震がおこったら

- おちついて、その場で体を低くして、大きなゆれから身をまもる。
- くずれそうなげや建物、へいからはなれる。
- ★うさぎの尻ふきんのがけ、ていぼう
- 大きなゆれがおさまったら、近くの避難場所か高台へにげる。
- 浜やその近くにいるときは、いそいではなれる。
- ★白旗 ★うさぎの尻 ★みやがた
- ★津波は、すぐにやってくるかもしれない。
- 家には、もどらない。
- にげおくれたら、鉄筋のたもににげる。
- ★学校 (学校がしまっていたら、非常かいだんの上まで)
- ★公民館 (右側にかいだんがある。)

自治会指定避難場所

1-1	国分寺 (26m)
1-2	旧火葬場 (20m)
2	稲荷さん (17m)
3	天神山 (22m)
4	土坂 (14m)
5	阿し原 (8m)
6	平野 (8m)
7	10番組 (32m)
8	辻工務店 (42m)
9	11番組 (44m)

まず近くの指定地へ避難する。 逃げ遅れたら 10 番 協 屋上 11m

【児童用防災マニュアル (地震・津波)】

大きな地震 (じしん) がおこったとき

志摩市立国府小学校

名前 _____

①自分の家にいるときに、地震がおこったら

- 身近な物 (ざぶとんなど) で頭をまもり、おちてくるものやたおれてくる家具から身を守る。
- 大きなゆれがおさまったら、おちついて頭をまもりながら、外へにげる。
- ★あわてて、外にとび出さない。★にげる前にストーブなどの火をけす。
- ★ゆれの状況を見極め、外へ出る。★くつやスリッパをはく。
- 大きな地震のときは、テレビの情報などを見ていないでにげる。
- 津波がくるかもしれないので、すばやく避難場所へにげる。
- ふだんから、もし地震があったときのことを、家の人と話しあっておく。
- ★どこへ避難するか (避難場所・避難経路)
- ★どこへむかえにきてもらうか。 (まちなあわせ場所・連絡方法)
- ★にげるとき、何をもつか。 (もちだし品)
- 避難したら、完全に安全になるまで、家にもどらない。
- ★余震はくりかえしおこる。★津波もくりかえしやってくる。
- 二次災害防止のために、できたら…
- ★電気ブレーカーを切る。★ガスコンロの元栓をしめる。ストーブをけす。
- ★消火器の場所やつかいかたを知っておく。

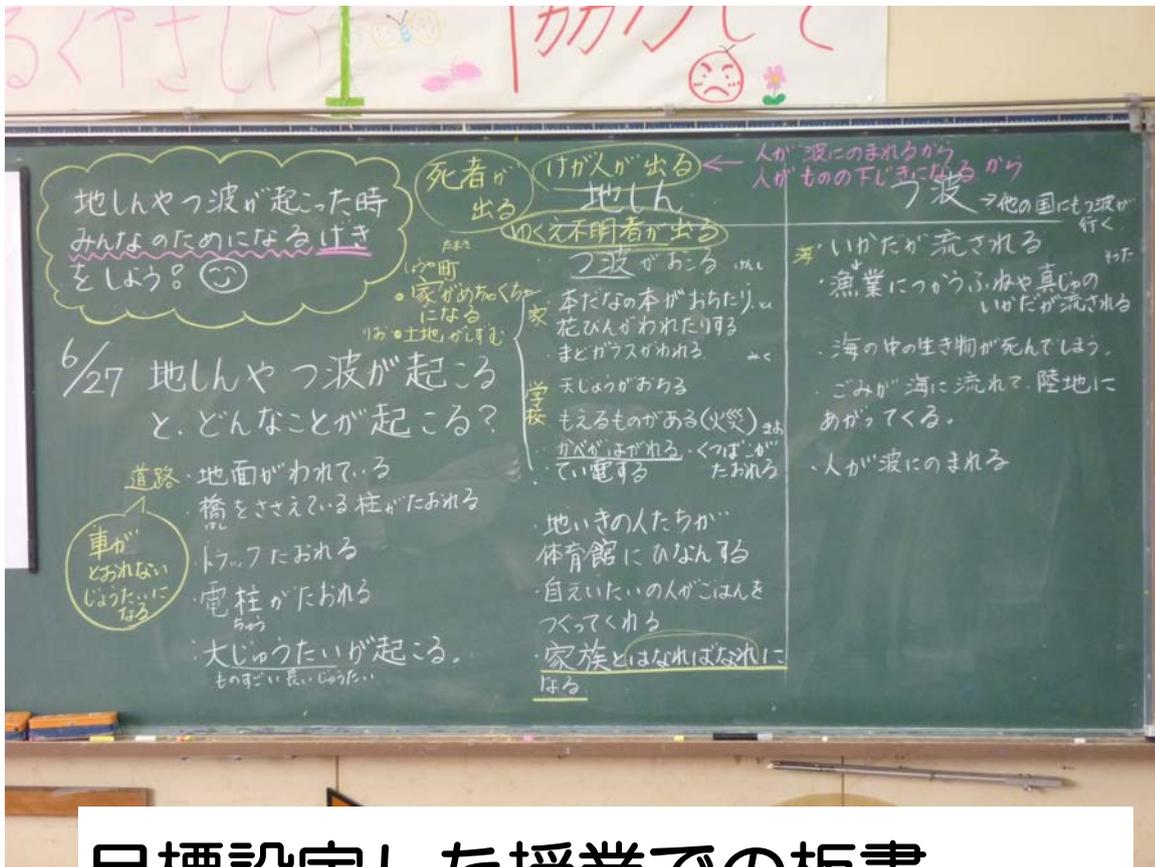
- 1 -

拠点学年(4年)を中心とした 防災学習

- ◎ 目標設定・学習計画
地震や津波がおこったとき、みんなのためになる劇をしよう
- ◎ 調べ学習(インターネット・聞き取り)
→ 劇作り
- ◎ 防災啓発グッズ(手づくりカレンダー等)
- ◎ 地域への発信・連携強化

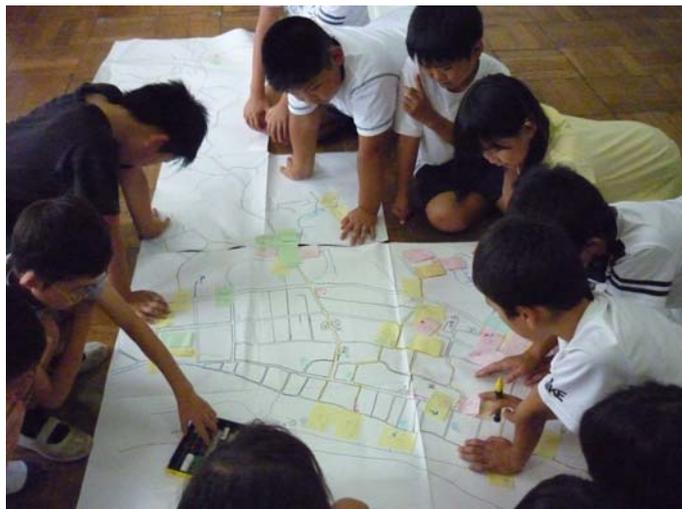


東日本大震災被災地へ派遣された消防士さんの話を聞く



目標設定した授業での板書

地域の避難経路の確かめ



クリスマススイブの大地震



劇で出されたクイズ

サンタさんたちが漁協の前まで来たとき地震がおきました。津波が来るかもしれないので避難してくださいとサンタさんは言っています。あなたならどうしますか。

- ◎ A この漁協の屋上に行けば絶対大丈夫だよ。
- ◎ B サンタの言うことはでたらめだ。ひなんしなくていいよ。
- ◎ C 漁協もあぶない。もっと高いところへ行こう。

第10避難場所 国府漁協屋上



高さ 海拔11メートル
(小学校の屋上と同じ高さ)

海岸から200メートル
「逃げ遅れた時の避難場所」
として指導している。

「もっと高いところ」は、第
2、3、4避難場所（小学校
は第4避難場所）は約20
メートルとなっている。

3学期の4年生の取り組み

1月10日時点の予定

- 学習した内容をリーフレットに作り、配布する。4グループが協力してA4判の大きさを作成する。
- リーフレットをもとに防災カレンダーを作成し配布する。リーフレットから内容をピックアップし、A3判表裏の大きさを作成する。
- 幼稚園、老友会、卒業生を送る会に向けて劇の内容を練り直していく。

チャレンジの成果と課題

- ◆ 学校の防災学習の定着
- ◆ 保護者・地域との連携の深まり
- ◆ 子どもたちの意識の高まり
- ◆ 学校の防災学習の内容の深まり・・・保護者との連携強化
- ◆ 地域との連携を広げる・・・消防団等各種団体
- ◆ 子どもたちの意識の高まり・・・的確な判断